

『貧血について』

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



「この前貧血で倒れそうになりました」、「どういう状況だったのですか?」、「急に立ち上がった時に目の前が暗くなってしゃがみこみました」。このような症状は立ちくらみ(起立性低血圧)と考えられ、貧血とは異なりますが一般的に混同されて使われています。

貧血とは酸素を全身に運ぶ赤血球が少ない状況であり、貧血が立ちくらみを起こしやすくする要因にはなりますが、立ちくらみは自律神経機能の低下や、血圧・心臓に原因があることも多いのです。貧血は簡単に言うと血液の栄養が薄い状況ですので、体のすみずみまで栄養が行き届きにくく、またその分を心臓が頑張って補おうとしますので、倦怠感や動悸といった症状が現れますが、徐々に進行した貧血では症状が出にくいこともよくあります。貧血は放置すると色々な臓器の負担となり、貧血が原因で心不全をおこすこともあり、放置することは危険です。

貧血の種類としては体内の鉄分が不足する鉄欠乏性貧血が大部分で特に女性に多くみられます。また腎臓の機能低下に伴う腎性貧血などもあります。貧血となった原因を明らかにすることが重要であり、女性の鉄欠乏性貧血は月経過多や子宮筋腫、まれに子宮がんが隠れていることがあります。また胃がんや大腸がんからの消化管出血が貧血の原因となることもあり、注意が必要です。

貧血の治療は原因に応じて鉄剤を内服したり、腎性貧血の人にはエリスロポエチンというホルモンを注射したりします。鉄分を多く含む食事を摂取したり、市販のサプリメントを服用することもある程度有効ですが、貧血の原因・程度を診断した上で正しく治療するためには、病院を受診することが重要です。また貧血は採血で簡単にわかりますので健診をしっかり受けるようにしましょう。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000